

# 令和6年度 豊島区立巣鴨小学校 学校経営方針

「学校大すき 巣鴨っ子」 教師と児童、児童相互、学校と保護者・地域の信頼関係(人権意識の高揚・人権感覚の醸成から生まれる人間関係及び向学の精神)

主体的な判断の下に行動する「学校大すき 巣鴨っ子」の育成(人にやさしく・自分につよく・明るく元気)

「自分の意思で行動を決定する」「自分が学級や学年にいてよかった」「どうすればできるようになるのかを皆で考える」「多様性を認め合い、学校生活をつくり上げる」⇒ 思いが高まる取組を行います。

## べんきょうがすき

◎ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた指導を充実させます。

- 基本的な学習の流れ
  - 1 問題を把握する。
  - 2 一人で考える。
  - 3 みんなで考えを共有したり、話し合ってみたりする。
  - 4 もう一度、自分の考えをまとめる。
  - 5 問題を解決したり、他の問題にチャレンジしたりする。
  - 6 学習を振り返る。
- 考える学習の展開
  - ・他に考え方はないか?(様々な考え方への促し)
  - ・本当にこれでよいのか?(見直しや遂行への促し)
  - ・筋が通っていて、分かりやすいか?(相手意識への促し)

◎ 自己肯定感・自己有用感を育てる学習指導を充実させます。

- めあてを明確にした授業(45分授業の確実な実施)
- ICTの活用・板書を工夫した分かりやすい授業
- 習熟度別指導、個に応じた指導を行い、自分はできるようになったと実感できる授業
- 協働的な学習から、自分が役に立ったと思える授業(自己有用感)
- 学校図書館を活用した授業
- 地域や保護者、異学年への発表(相手意識・目的意識)
- SDGsの概念を踏まえ、社会や環境と関わる体験を含んだ授業の実践
- 個に応じて質・量を検討する家庭学習の充実

## 研究・研修

◎ 校内研究を進めます。

- 生活科・総合的な学習の時間
- 研究主題
  - 生き生きと学びに向かう子供の育成
  - ・副主題
    - ～子供の思いを膨らませる活動を通して～

◎ 外部研究会・研修に参加します。

- 教師としての専門性の向上
- 豊島区立小学校教育研究会への参加、東京都教職員研修センターの研修会への参加
  - ・教科指導・教育課題への対応

◎ 業務の精選や改善をし、子供に向き合う時間を確保します。

- 多様な人材の活用や関係諸機関との連携
- 中学年・高学年の交換授業と各学年への講師配置

## 友だちがすき

### 心の教育の充実

◎ 人権感覚の向上を図ります。

- 道徳科の授業を要として、全教育活動を通して心を育てる教育

◎ 自己肯定感を育てる心の教育

- やればできると思えるような機会・課題の設定
- 自分の伸びを感じられる振り返りと新たな目標の設定
- ⇒ 「〇〇ができた」「〇〇までできた」⇒ やりきる経験

◎ 自他を尊重し、互いを認め合える自己有用感を育成します。

- 挨拶＋一言運動等を通じた取組の推進 ⇒ 「返事」・「ありがとう」
- 規則・マナー等を守るようとする規範意識の育成
- 「巣鴨スタンダード」の活用
- 能動的な傾聴や適切な自己表現ができるコミュニケーション能力の育成
- 多様な人間関係づくりができる児童会や異年齢集団活動の充実

◎ いじめ・不登校0を目指して組織的に取り組みます。

- スクールカウンセラーや関係諸機関とも連携する組織的な取組
- いじめの早期発見・早期対応・早期解決を図る組織的な取組(全員面談)
- インターネットやSNSの活用に対する情報モラル教育の充実と家庭との協力
- 登校しぶりが見られたときの家庭と連携した早期の組織的対応
- 「学校が楽しい」と思えるような教育活動の工夫

### 特別支援教育

◎ 個別に計画を立てた指導を実施します。

- 学びやすい教室環境の整備
- スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門家による助言に基づく、指導内容・方法の改善

◎ 特別支援教室の指導を充実します。

- ねらいと手だてを明確にした授業の実施
- 巡回指導教員(特別支援教室の指導員)と通常の学級との教員間で話し合いによる通常学級の指導の充実

◎ 病気やアレルギーの症状が見られる児童への対応を徹底します。

- 保護者との十分な情報共有

◎ 悩みをもっている児童の指導に取り組みます。

- 家庭だけではなく関係諸機関と連携を取り、チームで対応

## うんどうがすき

◎ 日常的に体力向上を図る取組を実施します。

- 休み時間の外遊び・体育館等での遊びの励行
- 放課後や休日の過ごし方への改善の指導

◎ 体力調査の分析結果を生かした取組の実施

- 体育の授業における補強運動の計画的な実施
- 運動が楽しいと思えるような取組の実施
- ⇒ なわ跳び期間・持久走期間

◎ 自ら心身ともに健康的な生活を営もうとする指導を推進します。

- 健康を考えた食事の大切さの指導
- 食を通じた多様性や地域性、伝統と文化の理解
- 十分な睡眠・休養が情緒の安定・学力の向上につながることを指導
- 手洗い・うがいの励行
- 自分の命は、自分で守る意識を育てる指導

## 開かれた学校づくり

◎ 学校評価に基づき教育活動を改善します。

- 学校、児童、保護者、地域の四者によるアンケート結果の分析及び改善
- お便りやホームページ、Classroomを活用した適時・適切な情報の送受信

◎ 確かな学力を育成します。

- 家庭や児童へ、評価の観点等の事前提示(シラバス)
- 家庭学習の習慣化に向けた家庭との連携

◎ 地域を愛する児童を育てる学校づくりを進めます。

- 挨拶＋一言運動へのご協力の依頼
- PTAや地域との連携
  - ・大塚阿波踊り等の地域行事や事業への参加
- 巣鴨サポータークラブへの参加依頼
- 地域と共同で行う防災・不審者対策
- 次世代の地域の安全・安心を支える人材としての指導

安全・安心な学校：すべての児童が、学ぶ喜びと希望をもっている学校 保護者・地域と共につながり、子供の成長を喜び合う学校